

☆迎春



大阪狭山市議会議員
山本 尚生



大阪狭山市長
古川 照人

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、大阪狭山市議会におきましては、近畿圏111市の市議会で構成する近畿市議会議長会の会長市といたしまして、その重責を担っているところでございます。

これまでに全国市議会議長会などを通じ、国・政府に対して、人口減少社会の到来においても地域に雇用を確保し、新しい人の流れを生み出していくことや、地方創生の実現、デジタル化・脱炭素化の推進、強靱な国土づくり、持続可能な社会保障制度づくり、次世代を担う人づくりなどの課題について、対策を講じる要望を行うための取りまとめを行ってまいりました。

大阪狭山市議会におきましても、2年ぶりに議会報告会を開催し、市民の皆さまのご意見を直接お聴きする機会を設けることができ、これからのニューノーマルに向けた取り組みを、より身近に進めることができると考えております。

市における市民生活・事業者への支援による社会経済活動の活性化や、教育環境の充実に向けた取り組みをはじめとするデジタルトランスフォーメーションの推進など、さらなる住みよいまちづくりの実現に向けて、議会審議の充実に努めているところでございます。

本年も、市民に開かれた議会、信頼される議会運営をめざし、中断なく、皆さまからの負託に応えられるよう議会活動を進めてまいります。

結びにあたり、市民の皆さまにとりまして、本年が健やかで実り多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、大阪狭山市政の発展に、様々な分野でご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

特に、新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いている中、少しずつではありますが各々の活動を再開されるとともに、昨年、3年ぶりとなった狭山池まつりをはじめとするイベントを開催していただいたことに感謝申し上げます。まことのにぎわいや活気が戻りつつあることを実感し、どのような困難な状況であっても、あきらめずに前を向いて進まれる市民の皆さまの力強さを改めて認識させていただきました。

市では、昨年10月に市制施行35周年を迎え、Instagramを活用したフォトコンテストや下水道マンホールふたデザインの募集など、時勢に応じた催しによって、記念すべき節目の年を盛り上げてまいりました。このような取り組みを持続することがまちの発展にとって重要であると考えています。

今年はその一環として、現在実施している「さやりんポイントプレミアムチャージキャンペーン」をはじめとした、さやりんポイント事業のさらなる展開を図ってまいります。地域のにぎわいを取り戻し、皆さまの豊かな暮らしを支える一助となるよう願っております。

今後も、市民の皆さまと手を携えながら、「みんなでつくるおおさかさやま」を合言葉に市政運営に尽力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。